

この1年の松屋製粉のSDGs活動について 2022年10月

経営理念で次の宣言をしています

「私たちは想像力と技術力を通じて顧客に価値を提供し、お客様や地域・社会に信頼される会社として持続的に成長します」

- そのためには、生産技術の改善・革新に努め安心して安全な商品・サービスを提供しお客様に満足して頂くこと、社員の仕事に対する満足度を向上させることが必要です
- さらに法令遵守はもとより食を通じて地域・社会に貢献出来なければなりません
- こうした考え方はSDGsの精神である「持続的な成長」「ダイバーシティ経営の推進」と強い関係性があります

私たちの目指すSDGsはこうした考え方を基本にして、地域社会への貢献と社員の幸せを追求していくものです

取組み①

栃木県産玄蕎麦の使用量を2030年までに20%アップします

栃木県の企業として栃木県産そば粉の普及拡大を目指します

⇒栃木県産そば粉を使用した焼き菓子「蕎麦バー」をリニューアルしました

また、県産そば粉の1kg袋「夏蕎麦」を通販で販売しました



取組み②

地域貢献としてフードバンクなどの活動を支援します

⇒特定非営利活動法人フードバンクうつのみやの活動を支援しています

乾麺を390食と社員の家庭から持ち寄った食品44点を寄贈しました



取組み③

働き方改革を進め、ダイバーシティ経営を推進します

⇒人事制度を見直して、年功制も加味しながら同一労働・同一賃金をベースにした賃金制度に移行しました

女性管理職が初めて誕生しています また男性社員の育児休業も定着しています

生産性の向上に努め、残業時間は前年比で11%減少しました



取組み④

新しい活動として「栃木を蕎麦で有名にする」活動を開始しました

⇒「とちぎはそば県」と刻印したタヌキの置物を作成し、県内のお蕎麦屋さんへ配布中です

来店される地元の方や観光客に向けて「そば県」をPRしながら栃木県産蕎麦の価値をお伝えしたいと考えています

取組み⑤

環境に対する取組みについて

⇒省エネや環境に負荷をかける廃棄物には常に注意を払いながら活動をしていますが

この1年間の成果として

- ・全体の約30%に当たる製品の賞味期限を30日延長
- ・原単位当たり電力で3%、LPガスで6%を削減(前年比)

- ・温室効果ガスの排出量では5%を削減(前年比)
- ・DX改革を進めてコピー用紙の使用量を20%削減(前年比)



以上がこの1年間の主な活動になりますが、引き続き皆様から信頼される企業としてSDGS活動を推進していく所存です
どうぞよろしくお願い申し上げます